

## 和服着装に関する研究 (第7報)

- 浴衣地と着装の実態調査 -

豊田 幸子

Studies on the Wearing of Japanese Style Clothes ( )

- Actual Survey of the Fabrik and Wearing of the *Yukata* -

Sachiko TOYODA

### 緒 言

今日の若年層における“ゆかたブーム”が平成の元年頃から始まり、今や浴衣のプラタ化も定着し、浴衣と帯と下駄の3点セットの販売もスーパーの広告に入って、低価格の競争がされつつある。しかしその一方で百貨店や呉服店において、ブランドの高級反物での自分サイズの注文品による個性派も増えている現状である。このような中で、女子学生への伝統ある和服の構成と着装を教育するにあたり、浴衣の素材やその着装についての業者の提供状況や実際の着装状況を把握して、学生各自に個性ある浴衣着装をさせる指導の一助を目的として本調査を行った。

### 方 法

調査は2000年1月から2002年8月(平成12~14年)の約3年間に発行された日本繊維新聞、繊維新聞、朝日新聞とその広告類さらに雑誌「*k i - m o n o*」(No 139~148)と*campus face* 週刊53号を対象として女物浴衣に関する記事を取り上げた。2000年は26件(浴衣地18件, 着装8件), 2001年は63件(浴衣地50件, 着装13件), 2002年は43件(浴衣地34件, 着装9件)の記事のうち浴衣地と着装に関するものに分けて、特徴があり参考になる記事を取り上げて分類し考察した。

### 結果及び考察

#### 1. 2000年(平成12年)の浴衣地と着装

2000年の1年間における新聞や雑誌類から女物の浴衣地と着装に関する記事を取り上げて、整理し検討した結果を表1に示す。記事内容の言葉づかいについては新聞記事に書かれていた文章と同様の使い方でまとめた。また記事内容で図の方に着装写真があるものには\*印を入れた。

浴衣地に関しては資料1から4の記事内容に見られるように、まったくの洋服感覚での明るいパステル調の色柄が出て、特にピンクが流行した。これに合わせて光り物も流行し、ラメを織り込んだ帯を合せたり、各百貨店の呉服コーナーでは「光るゆかた」として蛍や星座の柄に蓄光染料や蛍光材を付けたりした。また三宅一生氏のブリーツ物の影響から図1のAに示す総ブリーツ地の浴衣も発売された。健康グッズブームの影響での防虫加工の浴衣やこの年にあった

表1 2000年(平成12年)の浴衣地と着装に関する記事

|             | 資料 | 記事内容  | 記載月日・社名                    |
|-------------|----|---|----------------------------|
| 浴<br>衣<br>地 | 1  | ・イエロー、ピンク、ブルー系などの洋服感覚のふんい気でパステル調の色柄がヤングに支持。<br>・蓄光染料を使って柄づけをしてあるので昼間に光を蓄え、夜間発光し柄が浮かび上がって見える「光るゆかた」が名鉄百貨店では星座を三越本店ではクラゲ柄がでた。   | 5月24日 織研新聞                 |
|             | 2  | ・さが美はヒノキ、杉等の廃材のおがくずからの抽出液をゆかたに浸透させ防虫加工したゆかた「蚊害安全」を発売。   | 6月14日<br>日本繊維新聞            |
|             | 3  | *綿、ポリエステル各50%の総ブリーツのゆかた。しわになりにくく洋風に着崩ししやすいのが売りで商品名「ストリーム」でやまとから発売。<br>・鈴乃屋は一枚の生地を異なる色で染め付けた「リバーシブルゆかた」を実用新案登録した。さらにサミット開催を記念し、沖縄の伝統的な紅型や緋等をアレンジした「ゆかたサミット沖縄」も出した。<br>・東武百貨店は釣りの疑似えさ用小型蛍光材を裏地のポケット3カ所に付け、夜のライトアップを楽しめる蛍柄の「光るゆかた」を発売。 | 6月17日<br>朝日新聞(夕刊)          |
|             | 4  | ・ファッショントレンドをそっくりいただいて、今年は圧倒的にピンクのゆかたが他を押さえてトップ。これに合わせたスパンコールやゴールド、シルバーのラメを織り込んだ帯も人気を呼んだ。  | 8月12日 織研新聞                 |
| 着<br>装      | 5  | ・アパレルメーカーから「ギャル甚平」発売。ヤシの葉やハイビスカスといったギャル柄あり。   | 5月30日 織研新聞                 |
|             | 6  | ・生活創庫名古屋駅店浴衣コーナーでは浴衣用羽織や甚平の上下にスカートにもなるトップをプラスして発売。  | 6月30日 週刊53号<br>campus face |
|             | 7  | *名古屋の呉服専門店よし川屋が超ミニの「マイクロミニゆかた」として普通のブレタゆかたを1時間でミニのゆかたの丈に無料でなおしてくれる。流行の GANGLO や厚底サンダルに合わせてブレイクしている。   | 7月6日 織研新聞                  |
|             | 8  | ・若い女性向けの「ギャル甚平」が登場。動きやすく、着付けがいらぬし、帯もなく、肩が網目になっていて浴衣より涼しいと人気。  | 7月18日 朝日新聞                 |

沖縄サミット記念の「ゆかたサミット沖縄」、さらに一枚の生地を異なる色で染め付けて2つの柄が楽しめる「リバーシブルゆかた」も発売された。

着装では名古屋の呉服専門店が無料でミニ丈に仕立てなおしてくれる「マイクロミニゆかた」が現れた。図1-Bに見られる GANGLO のメーキャップや厚底のサンダルに合わせて着装してディスコに行くなど一部ではブレイクした。またこれに合わせて、若い女性向けにハイビスカスやヤシの葉模様の甚平が東京の渋谷ギャル達から着用され始めて、着付けがいらぬし、肩が網目になっていて浴衣より涼しいと人気で「ギャル甚平」が登場した。

## 2. 2001年(平成13年)の浴衣地と着装

2001年の記事を整理し検討した結果を表2に示す。浴衣地についての記事は資料9から16に

示すように流行のヒョウやトラなどのアニマル柄や水玉のドット柄による浴衣地が発売され、その着装を図2のC、Dに示す。その一方では資料11の柿渋で染めた生地に伝統の絞りをするなどの高級品も見られる。また浴衣一着分は幅約36cmで長さ12mの一反の和服地で作られるが、資料13に見られるように120cmの広幅生地を使って、脇、脇、背中心の縫い目を無くした「パノラマゆかた」が発売された。したがって、背、脇、裾で柄が切れることが無く、従来の裁断時での柄合せに悩まされる事は解消された。またこの年は甚平がさ



A 紺ブリーツの浴衣地  
日本繊維新聞  
4月20日より



B 「マイクロミニゆかた」の着装  
織研新聞7月6日より

図1 2000年の浴衣地と着装

ら一般に普及して、資料12、15に見られるように親子お揃いでハム太郎の柄や兵隊服でおなじみの迷彩柄等から本藍染めのしじら織りの使用や鳥や竜の刺し子で高級感を出した品も見

表2 2001年（平成13年）の浴衣地と着装に関する記事

| 資料 | 記事内容   | 記載月日・社名             |
|----|--|---------------------|
| 9  | ・市田きものは15～16歳代をメインターゲットにした新感覚ゆかたの赤系統を中心に白、紺、紫の地色にヒョウ、水玉の柄を発売。  | 1月17日<br>日本繊維新聞     |
| 10 | * ヒョウやトラなどストリートトレンドのアニマル柄がゆかたになって登場。カラフルなエレガンス系サンダルを合せてもイケる。帯はラメ入りジャガードの千鳥格子。                                    | 2月26日 織研新聞          |
| 11 | ・愛知県絞工業組合での新作コンクールでは布地を柿渋で染めた上に三浦絞りと手筋絞りを施したゆかたも出品。  | 3月9日<br>日本繊維新聞      |
| 12 | ・甚平が量販店のメイン商品として動き始める。フクロウやタカ、竜の刺し子、しじら織などで高級感を出した。  | 3月23日 織研新聞          |
| 13 | ・鈴乃屋は120cmの広幅生地を使って「おくみ」と「わき」、「背中」の三つの縫い目を無くした“360度縫目なし”“絵柄の切れなし”の「パノラマゆかた」を出す。肩山に切替えを入れ、柄の天地が前後ともに正常になるなどの特徴あり。 | 5月18日 織研新聞          |
| 14 | ・鈴乃屋は裏返せば2着分の着こなしを楽しめるリバーシブルゆかたを発表。  | 6月25日<br>日本繊維新聞     |
| 15 | ・甚平の柄としてハイビス柄、迷彩柄、ヒョウ柄や親子でお揃いのハム太郎柄もある。  | 6月28日<br>朝日新聞のアビタ広告 |
| 16 | ・さが美はピンク地に白、白地に黒、赤、紺のドット柄や躍動的で大人っぽいイメージのヒョウ柄のゆかたを売場に投入した。  | 6月29日<br>日本繊維新聞     |

表2 2001年(平成13年)の浴衣地と着装に関する記事(続き)

| 資料 | 記事内容   | 記載月日・社名             |
|----|--|---------------------|
| 17 | *名古屋大森では絞りのゆかた生地を使用したキャミソール、巻きスカート、上着のオーダーを提案し、「リゾートゆかた」を展開する。   | 3月7日<br>日本繊維新聞      |
| 18 | ・やまとは花型にデザインした「飾り時計」をプレスレットだけでなく帯飾りにも提案。また髪飾りだけでなく、帯飾りとしても使用可能な「コサージュ」を出す。さらに「カラー手ぬぐい」は首にかけたり、バンダナ風に巻いて浴衣用小物として発売。   | 5月14日<br>日本繊維新聞     |
| 19 | *名古屋のきもの専門店のよし川屋は仕立て上がりのゆかたを短く切ってミニゆかたに加工するほか、背中を三角形にカットしたり、後にひざ上のスリットを入れるといったアレンジを提案。<br>*きもの専門店愛染蔵は洋服仕様のパターンと縫製で「ドレス感覚」に仕立てたオリジナルゆかた「ローブ・ドウ・ユカタ・カイ夏衣」を販売。そのままでも美しいシルエットのドレスとして楽しめるとともに、トップを羽織って帯を結べば「ゆかた」にもなる。帯もリボン感覚で簡単に結べるものを揃えた。      | 5月21日 織研新聞          |
| 20 | ・さが美は消費者の好みに合せ、普通丈、つい丈、ミニ丈の身丈が選べる「ゆかた加工」を展開する。「ミニ丈ゆかた」は肩ひもを使い腕まくりもできる。キュロットやショートパンツに合せたり、甚平のように部屋着にも。  | 5月28日<br>日本繊維新聞     |
| 21 | *さが美では帯のアクセサリ「オーガンジー・プチヘコ」が登場。基本の文庫結びにリボン結びするなどアレンジ次第で多くのパターンも楽しめる。  | 6月4日<br>日本繊維新聞      |
| 22 | ・10代の女の子は「浴衣デビュー」をいつするかが話題。<br>・面倒な帯結びをなくすので、新装大橋は4年前から大人用兵児帯の販売を始めたが、2年前から急激に伸びている。<br>*浴衣の肩を出す「オフショルダー」や後にスリットを入れるといった新しいスタイルに変身させる。<br>・きものリサイクルショップ「からくさ」は浴衣を上下に切り離すリフォームを始めた。上はひもで前を結わえ、帯を巻き、下は巻きつけて、面ファスナーで止める。帯もおはしよりも面ファスナーで止められる。 | 6月26日 朝日新聞          |
| 23 | ・甚平にも上着をチャイナ風やローウエスト風にベルトをつけて、結ぶといったアレンジを加えたもの販売。<br>浴衣コサージュも販売  | 7月12日<br>朝日新聞のアピタ広告 |
| 24 | *浴衣の衿と袖口にレースのフリルをつけ、帯を前で花のコサージュに結ぶ着装とかなり個性的。高校生やOLも百貨店の呉服売場や専門店で、自分サイズを新調したりと浴衣ブームも成熟。皆がやはり伝統的がいいと思い始めた。   | 7月26日 織研新聞          |
| 25 | *きもの専門店よし川では黒の前身頃の裾をチューリップの花のように丸くカットしたデザインのミニゆかたが一番の人気。これにピンクのへこ帯を合せる。  | 8月9日 織研新聞           |

着  
装  
小  
物  
も  
含  
む

られた。

着装に関しては小物も含めて表2の資料17から25に示す。昨年のミニ丈浴衣に続いて、衿下から裾を丸くカットしてチューリップの花びらのようにしたり、背中を三角にカットしたり、

後裾にひざ上までのスリットを入れたりのアレンジが提案された。これらの着装を図3のE, F, G, Hに示す。この年は資料18, 21, 23に示すように浴衣の着装を個性的にする為の小物の扱いも見られた。文庫結びにした半幅帯の上にもう一本透けるオーガンジーの兵児帯をするもので、「オーガンジーブチヘコ」の名前で出されたり、花型にデザインした「飾り時計」はプレスレットだけでなく、帯の胴回りの前中心に下げて飾ったりを提案している。その他「カラー手ぬぐい」をバンダナ風に頭に巻いたり、髪飾りだけで



C アニマル柄の浴衣地  
織研新聞 2月26日より



D ドット柄の浴衣地  
日本繊維新聞 6月29日より

図2 2001年の浴衣地



E 肩ひもで腕まくりの「ミニ丈ゆかた」  
日本繊維新聞 5月28日より



F 衿下を丸くカットのミニゆかた



G 後にスリット



H 背中を三角形にカット

F, G, Hともに織研新聞 5月21日より



I 衿と袖口にレースのフリル帯は前で花のコサージュ  
織研新聞 7月26日より



J 絞りのゆかた生地「リゾートゆかた」  
日本繊維新聞 3月7日より



K 洋服仕様のオリジナルゆかた  
織研新聞 5月21日より

図3 2001年の浴衣着装

なく帯飾りとしても使用可能な「浴衣コサージュ」も販売された。この個性的な着装の例を図3のIに示す。横浜の国際花火大会でのスナップで、袖口と衿にギャザをよせたレースをつけたり、帯は前で花を作って結んでいる。このような個性派達が百貨店の呉服売場や呉服専門店で、高級反物を自分サイズで注文したりと浴衣ブームも成熟してきている。また資料17, 19に示すように伝統の絞り浴衣地やオーガンジー風の透ける素材で作られた浴衣としても、洋服としても着装出来る浴衣も出た。図3のJはキャミソールと巻きスカートそれに上着の3点を組み合わせる「リゾートゆかた」の着装である。Kはポリエステル製の薄物生地、そのままでも美しいシルエットのドレスとして楽しめるとともに、トップを羽織って帯を結べば浴衣にもなり、工夫次第で幾通りもの着こなしを楽しめる「ローブ・ドウ・ユカタ・カイ夏衣」も販売された。この様な洋服調になる事は資料23に示す甚平にも見られ、上着をチャイナドレスのスタンドカラーと組みひものボタンにしたり、上着の裾にベルトをつけてその延長を結ぶといったアレンジが見られた。

### 3. 2002年(平成14年)の浴衣地と着装

2002年の記事を整理し検討した結果を表3に示す。浴衣地についての記事は資料26から30に示す。色は昨年までの明るいパステル調から紺、黒、白、緑など渋くて落ち着いた色合いになった。柄も懐古調で大正ロマンを再現したり、多色使いが特徴でぐっと大人っぽい襦袢柄なども出て、その着装を図4のLに示す。しかしまた浴衣に洋服感覚を求める事も続き、資料29や30に示すように縦レースプリントやレース柄とヒョウ柄を組み合わせたりしたレース模様が出て、スーパーでも売り出されたりしている。小物では資料27に示すような首に掛けるだけで半衿のように見える飾り衿や袖口から見せるレースの飾り袖など大正ロマン風のコーディネートグッズも出された。

着装では表3の資料33に示す若者に人気があるデニム地で衿、袖口、裾にフリルをあしらっ



L 大正ロマン襦袢柄の浴衣地  
織研新聞4月5日より



M 「デニムゆかた」  
織研新聞5月29日より



N 上下セパレートタイプのゆかた  
日本繊維新聞3月8日より

図4 2002年の浴衣地と着装

表3 2002年（平成14年）の浴衣地と着装に関する記事

|             | 資料 | 記事内容  | 記載月日・社名                   |
|-------------|----|---|---------------------------|
| 浴<br>衣<br>地 | 26 | ・名古屋有力卸の2002年ゆかた企画は伝統的な和の柄や色目为中心でパステル調商品の比率は下がった。<br>・和のテストや技法がライフスタイルのキーワードとして注目されており、ゆかたもこれまでのホップなデザインから和や古典を意識した物作りが大勢を占めている。                          | 2月28日 織研新聞                |
|             | 27 | *今夏のゆかたは“きもの気分”がキーワード。大正ロマンを再現した「きもの柄」を目玉にする企画が目立つ。多色使いが特徴で、ぐっと大人っぽい襦袢柄も出した。<br>・新装大橋は首に掛けるだけで半衿のように見える“飾り衿”や袖口からちらりと見えるレースの“飾り袖”など大正ロマン風のコーディネートグッズも揃えた。 | 4月5日 織研新聞                 |
|             | 28 | ・色は紺、黒、白、グリーンなど渋めが多く、柄も古典回帰の傾向がはっきりと出ている。   | 5月29日 織研新聞                |
|             | 29 | ・落ち着いた色合いや懐古調の柄など大人っぽさが今年のキーワード。ブームが巡って消費者の目が肥えて、“いいもの”や“本物”を求める傾向がある。<br>・ヒョウ柄とレース柄をかさねたパターン・オン・パターン柄や黒地に白のレース柄などのレース柄が出ている。                             | 7月10日 織研新聞                |
|             | 30 | ・洋服感覚に近い総レースプリントの婦人レースプリント浴衣を販売。  | 7月11日<br>朝日新聞のアビタ広告       |
| 着<br>装      | 31 | ・秀鳳は前の打ち合せをファスナーにして、すぐに着れるワンピース感覚の「ケイコのスピードゆかた」を発売。   | 2月15日「ki-mono」<br>No. 147 |
|             | 32 | *市田は携帯電話で情報発信する“CUTE STYLE”の名で洋服とのコーディネートも可能な上下セパレートタイプのゆかたを商品化。ミニ丈とドレス風ツーピースのキュートタイプ。  | 3月5日、8日<br>日本繊維新聞         |
|             | 33 | *大丸梅田店では大阪モード学園学生のデザイン画から選んで商品化した「デニムゆかた」を出した。  | 5月29日 織研新聞                |
|             | 34 | ・上下に分かれたゆかたは、上着をはずせばワンピースになる“婦人2WAY浴衣”を販売。  | 7月11日<br>朝日新聞のアビタ広告       |

たドレス風なデザインの「デニムゆかた」が大阪の百貨店で発売された。その着装写真を図4のMに示す。さらに資料31, 32, 34にも見られるように上下に分かれた浴衣で洋服との組み合わせも楽しめる「婦人2WAY浴衣」等の名称で出ている。しかも資料31の京都のメーカーでは上着の前身頃が二重になっており、下側はファスナーで開閉自在で上側の衿元を合せれば着付け完了。着くずれしないからとっても安心とか、はじめての人もわずか1分で着られる等のキャッチフレーズで「ケイコのスピードゆかた」の名称で出ている。また最近における情報のIT化の波は呉服業界にも入り、資料32は携帯電話で情報発信して「CUTE STYLE」の名称で若者向けに発売されている。この着装写真を図4のNに示す。通常の浴衣タイプとミニ丈のドレス風ツーピースのタイプである。このように着装では浴衣の着装の簡易化を目指したデザインの洋風化の記事も多く見られた。

## 要 約

2000年1月から2002年8月までの約3年間における浴衣地と着装の実態調査の結果、次のことが考察できた。

浴衣地の色では洋服同様に明るいパステル系の特にピンクを中心にイエロー、ブルー系が好まれて流行したが、2002年に入るとパステル調から渋めの落ち着いた色合いで紺や黒地の浴衣が目立ってきた。柄ではヤシの葉やハイビスカスといったギャル柄からアニマル柄やドット柄といった洋服調になり、2002年では伝統的な和の柄が中心で大人っぽい襦袢柄なども出た。生地も総プリント地や蓄光染料での光る図柄をプリントしたり、蚊を寄せない防虫加工地も出た。また裏返せば2着分着こなすリバーシブル生地や柄合せのいらない120cmの広幅地やデニム地使用の浴衣も販売された。

着装では浴衣をミニ丈に加工したりや女用甚平の着装も見られた。さらに後衿の三角カットや背中心裾のスリット、衿や袖口にレースをつけたり花のコサージュや時計を帯に飾るの個性派もあった。前打ち合いをファスナーで開閉したり、上下をセパレートして和洋を着こなすなどの浴衣の着装の簡便化を目指したデザインの洋服化は3年間を通して見られた。

以上のような情報をとらえて、美しく格調のある和服の伝統をふまえながら、現代の環境に合うフファッション性豊かな浴衣の構成、着装の指導にあたりたい。

稿を終えるにあたり、織研新聞社、日本繊維新聞社には記事の写真転載の許可を頂きました事に感謝申し上げます。

## 参 考 文 献

- 1) ゆかた売場がスタート, 4月20日, 日本繊維新聞(2000)
- 2) ゆかた商戦, 5月24日, 織研新聞(2000)
- 3) ギャル甚平, 5月30日, 織研新聞,(2000)
- 4) 蚊が寄らないゆかた, 6月14日, 日本繊維新聞,(2000)
- 5) ゆかた, 6月17日, 朝日新聞,(2000)
- 6) GOODS YUKATA, 6月30日, campus face 週刊53号,(2000)
- 7) マイクロミニゆかた, 7月6日, 織研新聞,(2000)
- 8) 甚平, 7月18日, 朝日新聞,(2000)
- 9) SENKEN, 8月12日, 織研新聞,(2000)
- 11) ゆかたの新ブランド発表, 1月17日, 日本繊維新聞,(2001)
- 12) ゆかたもアニマル柄, 2月26日, 織研新聞,(2001)
- 13) 絞りゆかた地で洋装アイテム, 3月7日, 日本繊維新聞,(2001)
- 14) 有松・鳴海絞新作コンクール2001, 3月9日, 日本繊維新聞,(2001)
- 15) 甚平, 3月23日, 織研新聞,(2001)
- 16) ゆかた用小物を強化, 5月14日, 日本繊維新聞,(2001)
- 17) 縫い目のないゆかた, 5月18日, 織研新聞,(2001)
- 18) アレンジゆかた, 5月21日, 織研新聞,(2001)
- 19) ゆかた商戦, 5月28日, 日本繊維新聞,(2001)
- 20) 手軽に帯のおしゃれ, 6月4日, 日本繊維新聞,(2001)
- 21) 明日のきものを考える, 6月25日, 日本繊維新聞,(2001)



- 22) 浴衣デビューの夏に，6月26日，朝日新聞，(2001)
- 23) ゆかたにもヒョウ柄，6月29日，日本繊維新聞，(2001)
- 24) ゆかたもカスタマイズド，7月26日，織研新聞，(2001)
- 25) “アレンジゆかた”も話題，8月9日，織研新聞，(2001)
- 26) 「ki-mono」No147：90～118，織研新聞社（2002）
- 27) きもの，2月28日，織研新聞，(2002)
- 28) ゆかたでヤングブランド，3月5日，日本繊維新聞，(2002)
- 29) ホップでキュート，3月8日，日本繊維新聞，(2002)
- 30) 大正ロマンゆかたが新鮮，4月5日，織研新聞，(2002)
- 31) ゆかた商戦本番へ，5月29日，織研新聞，(2002)
- 32) ゆかたも“大人系”，7月10日，織研新聞，(2002)